



正しい分別で ごみを減量

平成31年4月1日から家庭ごみ有料化・戸別収集を開始しました。皆さんのごみ減量への意識の高まりや分別などのご協力により、開始から1年間（平成31年4月～令和2年3月）のごみの収集量を前年と比較すると、減少しました。今後も引き続き、ごみの減量にご理解とご協力をお願いします。

問合せ 資源循環課 ☎042(346)9535

家庭ごみ有料化後 1年間のごみ量が約20%減少

家庭ごみ有料化後1年間のごみの収集量（燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ）は、前年と比較して、約7,200トン減少しました。

燃やすごみ

生ごみ、ティッシュ、汚れた紙類や布類、汚れたプラスチック製容器包装、革製品、ビニール製品、ゴム製品（シリコン製品を含む）、15cm未満のプラスチック製品など



燃やすごみの量は、約3,100トン、約11%減少しました。レジ袋やお菓子の袋など、これまで燃やすごみとして収集していた軟質のプラスチック製容器包装をプラスチック製容器包装へ分別変更したことが大きな要因と考えています。

燃やさないごみ

陶磁器、ガラス、15cm以上のプラスチック製品、金属類など



燃やさないごみの量は、約4,000トン、約74%減少しました。一部の品目を燃やすごみへ分別変更したことや、プラスチック製容器包装の分別が徹底されたこと、収集頻度を週に1回から4週に1回に変更したことが要因と考えています。

プラスチック製容器包装

が付いたトレイ、ボトル、パック、カップめん容器、弁当容器、キャップ、レジ袋、お菓子の袋など



プラスチック製容器包装の量は、約1,000トンとなり、前年度から資源量が2倍以上増加しました。プラスチック製容器包装をすべて資源化できるようになったことや、分別が徹底されたことが増加の要因と考えています。

ごみの出し方に注意を

◆燃やさないごみの分別

ガスカートリッジ缶、スプレー缶やライター、リチウムイオン電池や電子たばこが燃やさないごみで出され、収集車の火災事故が発生しています。ガスカートリッジ缶、スプレー缶、ライターは有害性資源の日に出し、リチウムイオン電池は家電販売店や公共施設の回収ボックスへ、電子たばこは販売店へお持ちください。

◆使用済みマスクやティッシュの捨て方

マスクなどのごみに手で直接触れないように、燃やすごみの指定収集袋に入れます。ごみが袋の外側に触れないように入れてください。

袋の中の空気を抜き、袋の口をしっかりとしばります。

処理した後は手を洗います。

マスクなどは燃やすごみ



5月 火災発生時の様子

7月から レジ袋が有料化

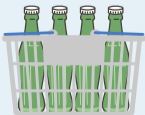
レジ袋の削減にご協力を

7月からレジ袋が有料になります。買い物などにはマイバッグを持って行きましょう。レジ袋の削減にご協力をお願いします。

◆レジ袋削減のためのごみの出し方

ビン、カン、ペットボトル、金属製のなべを出すときは、かごやバケツの中に直接入れて出すこともできます。風で中身が飛散しないよう出してください。

レジ袋を削減すると、プラスチック製容器包装の減量につながります



燃やすごみ

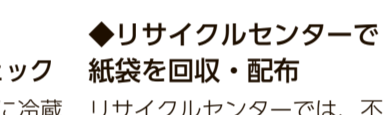
未利用食品の回収を利用

未利用食品（賞味期限が1ヶ月以上あるものは、イベント回収または小平市社会福祉協議会 こだいら生活相談支援センター（福祉会館4階）の回収を利用してください。



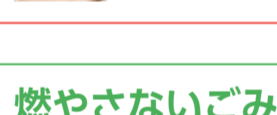
雑がみを資源に分別

お菓子や食品の箱、包装紙、トイレトペーパーやラップの芯、チラシなどの雑がみは資源に分別してください。



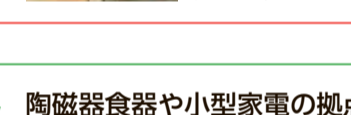
生ごみの水切りをする

容積や重量を減らせます。



買い物前に冷蔵庫をチェック

買い物前に冷蔵庫をチェックし、食べきれる分を購入してください。



◆リサイクルセンターで紙袋を回収・配布

リサイクルセンターでは、不要な紙袋（使えるもの）の回収と無料配布をしています。※在庫がない場合もあります。

燃やさないごみ

陶磁器食器や小型家電の拠点回収を利用



陶磁器食器は、リサイクルセンターの回収ボックスや、リサイクルきゃらばんなどのイベント回収を利用してください。



小型家電は、市役所、東部・西部出張所、図書館、鈴木公民館、リサイクルセンターに設置している回収ボックスを利用してください。

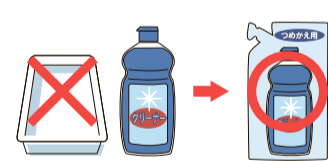
プラスチック製容器包装

トレイなどは店頭回収を利用



市内の小売店や公共施設などの店頭回収ボックスを利用してください。

トレイに入っていない商品や詰め替え商品を選ぶ



ブルーベリーの摘み取り ボランティアを募集

7月から8月にかけて収穫の最盛期を迎える、加工用ブルーベリーの摘み取りボランティアを募集します。※参加回数に応じてブルーベリーを差し上げます。



募集する農園

| 農園 | とき | 定員 |
|-----------------------|--------------|-----|
| 青木（清）園 小川町2-1351付近 | 水曜・土曜日 | 10人 |
| 青木（茂）園 小川町2-1308付近 | 月曜・水曜・金曜日 | 40人 |
| 内堀園 美園町2-16付近 | 月曜・水曜・金曜・土曜日 | 20人 |
| 當間園 大沼町5-8付近 | 水曜～日曜日 | 30人 |
| 和田園 花小金井5-50付近 | 月曜～日曜日 | 10人 |

※駐車場はありません。

とき 7月中旬～8月31日（月） 午前7時～9時

対象 小学生以上で、期間中5回以上参加できる健康な方
※小学生は、保護者同伴。観光農園ではないので、1回のみは不可。
※当園は経験者、小学生（高学年）を優先します。

申込み 6月30日（火）まで（必着）に、はがきに「ブルーベリーボランティア希望」と明記し、代表者の住所、氏名、電話番号、参加者全員の氏名、年齢、参加できる回数、参加希望農園を記入のうえ、東京むさし農業協同組合小平支店指導経済課（〒187-0032 小川町2-1827）へ（申込み多数の場合は抽選）

問合せ 産業振興課 ☎042(346)9533

地元のおいしいものをご自宅へ 小平のお店を応援しよう

市内には、個性あふれるお店や、新鮮な農産物を扱う直売所、持ち帰りや配達をしている飲食店などがたくさんあります。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大で休業するなど、市内のお店も大きな影響を受けています。

特別定額給付金を使った買い物などを地元でして、小平のお店を応援しませんか。

小平商工会では、持ち帰りや配達をしている飲食店などをまとめたチラシを作成しています。チラシは、ホームページからもご覧になれます。地元のお店自慢の逸品を、自宅で味わいませんか。

検索 小平商工会、こだいら観光まちづくり協会

問合せ 産業振興課 ☎042(346)9534



家事・育児は家族で 家族の分担を見直そう

共働きの世帯数は、1990年代後半から専業主婦世帯数を上回り、現在では専業主婦世帯数の2倍近くまで増えています。かつて、家事や育児は女性の仕事と考えられていた時期から、家事や育児は家族で共有・分担する時期へと変化しています。家族で家事や育児の分担について話し合い、家族みんなで共有・分担して、家族で楽しむ時間を増やしませんか。



男性の育休を広めよう

男性が育児休業を取りやすくなると、積極的に育児や家事に参加しやすくなり、家族との関係づくりにつながります。しかし、男性の育児休業取得率は未だ6.16%（厚生労働省・平成30年度雇用均等基本調査）にとどまり、まだまだ少ない状況です。育児休業を取得しやすい環境を作っていくためには、職場のひとりひとりの意識改革と育児休業取得への理解が大切です。

言葉を話せるようになったね

一緒に遊べるようになったね



◆パネル展示

男性の育休取得をテーマにパネル展示をします。

とき 6月23日（火）～29日（月）

ところ 市役所1階ロビー

問合せ 市民協働・男女参画推進課 ☎042(346)9618



問合せ 産業振興課 ☎042(346)9533

採り立てを販売 庭先直売所

市内産の枝豆やとうもろこしは、小平ファーマーズ・マーケットや農家の庭先直売所などで販売しています。

庭先直売所は、直売所マップで確認できます。マップは、こだいら観光まちづくり協会や産業振興課（市役所1階）にあるほか、小平市ホームページからもご覧になれます。

